

2 水の使用量の変化について(報告文づくり)

名前

田中さんは、水の使用量について調べ、報告文にまとめました。次の【報告文】をよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【報告文】

水の使用量の変化

五年二組 田中 ひろみ

一 調べた理由

わたしは、ニュース番組で、このまま雨がふらない日が続くと、ますます水不足の心配があり、使う水の制限をしなければならぬだろうと聞いているのを聞いた。「水を大切に」というポスターを学校でもよく見かける。そこで、実際に水の使用量がどのように変化しているのかについて調べ、そこから、わたしたちにもできるよい水の使い方 について考えることにした。

二 調べたこと

理科図かんと社会科資料集から、水の使用量についてまとめた。

(1) 理科図かから

地球にはたくさん水があり、地球を何度もめぐる旅をしている。しかし、実際に人間が使えるのは、地球の水の一万分の一で非常に少ないと言える。

(2) 社会科資料集から

昔、水は川や井戸からくんでいたため、水を運ぶのに、かなりの力と時間が必要であった。せんとくも川でしている人が多かった。家で、かん単に水を使うことができな生活であった。

時代の変化によって、家庭に水道が広まり、じゃ口をひねるとかん単に多量の水が出せるようになった。また、家庭用のふろや電気せんたく機、水せんトイレなどもしだいに広まってきた。そのため、一九六五年とくらべて、二〇〇五年にはが約二倍になっている。

★ 1

三 まとめ

わたしたちが、給食の前や外出の後に水道の水でよく手をあらうことや、毎日ふろに入って清潔にすること、よく衣服をせんたくすることなどは、衛生的で健康な生活のために、とても大事なことだと思う。その一方で、便利な生活になったことが、水の使用量を増やす原因の一つになっていることがわかった。このまま便利な生活が続くと、使用量はもっと増えることになるかもしれない。しかし、人間が使える水にはかぎりがある。

そこで、水の使用量をできるだけ増やさないためには、どのようなことに気をつけていけばよいのかについて考えた。たとえば、

★ 2

このように、よりよい水の使い方をし、クラスのみんなにもよびかけながら、水の使用量を減らす努力を続けたい。

「(2) 社会科資料集から」の中の最後の文は、報告文の中のグラフをもとにして書かれたものです。

★ 1

にふさわしい言葉を書きましよう。

